



## 1. 物質または混合物および会社情報

製造者情報

会社名：(有) パシフィック化学

住所：〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-48-2

電話：03-3986-1578 FAX：03-3971-2613

作成/改正：2008年4月1日/2016年6月1日

整理番号 TC-B-P

製品名 Tension Checker P TC-B-P (フィルムぬれ張力チェックペン)

物質の特定 混合物 (混合液はJIS規格に基づき調整)

## 2. 危険・有害性の要約 -内容液単品成分記載-

GHS分類： 引火性液体：区分2  
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性：区分2B  
 急性毒性：経口：区分5  
 生殖毒性：区分1B  
 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)：区分3(気道刺激性、麻酔作用)  
 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)：区分1(中枢神経、視覚器)

GHSラベル要素： 危険

危険有害性情報：引火性の高い液体及び蒸気/強い眼刺激/飲み込むと有害のおそれ/生殖能または胎児への悪影響のおそれ/臓器(中枢神経系、視覚器、全身毒性)の障害/呼吸器への刺激のおそれ/眠気またはめまいのおそれ/長期又は反復暴露による臓器(中枢神経系、視覚器)の障害

注意書き： 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。/容器から出し入れするときは、こぼれないようにしてください。/取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じ防毒マスク又は送気マスク、保護手袋等を着用してください。/取扱い後は、手洗いを十分行ってください。/一定の場所を定めて貯蔵してください。

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

★製品はサインペン形態なので必ずしもあてはまらない。

## 3. 組成および成分情報

化学名	CAS No.	含有量
水	7732-18-5	20v/v%
メタノール (別名：メチルアルコール)	67-56-1	80v/v%~99.8%
樹脂・染料		<0.1%

## 4. 応急措置 -製品-

目に入った場合： 直ちに流水で15分以上洗眼し、異常があれば医師の手当てを受ける。

皮膚に付いた場合： 石鹸を使って大量の水で洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。

大量に吸収した場合： (少量の容器なので、大量に吸収することは、ほとんどない)  
直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移し、安静保温に努める。その後医師の手当てを受ける。

誤飲した場合： (少量の容器なので、誤飲することは、ほとんどない)  
多量の水又は食塩水を飲ませ、吐ければ吐かせ医師の手当てを受ける。

応急処置をする者の保護：救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

## 5. 火災時の措置

—製品—

- 消化剤 : 大量の水、粉末、二酸化炭素、泡（アルコール泡）、  
 火災時の特有危険有害性 : 特になし  
 消火方法 : 火元の燃焼元を断ち、消火剤を使用して消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。  
 消火を行う者の保護 : 消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

—製品—

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には必ず保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないよう注意する。風上から作業して風下の人を退避させる。  
 環境に対する注意事項 : 漏れ出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。処理後大量の水で現場を洗い流す時は、高濃度の排水が河川等に排出されないように注意する。  
 回収、中和 : 火気厳禁とし、漏出した液はウエス、雑巾または土砂等に吸着させて空容器に回収し、その後を多量の水を用いて洗い流す。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

—製品—

- 取り扱い : 技術的対策 : 火気厳禁とし、高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける  
 注意事項 : 使用後は容器を密閉する。漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。  
 安全取扱い注意事項 : 吸い込んだり、皮膚、目、着衣に触れないよう適切な保護具を着用する。作業場は、換気を十分に行なう。静電気対策を行い、作業着、作業靴は導電性のものを用いる。

保管 : 適切な保管条件 : 保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類は全て接地する。/直射日光を避け、なるべく涼しい場所に密閉して保管する。過塩素酸、過酸化ナトリウム、過酸化水素、クモ酸、硝酸などと一緒に保管しない。

- 技術的対策 : 換気の良い場所で容器を密閉して保管する。-火気厳禁  
 接触禁止物質 : 強酸化性物質、火源の近くに保管しない。  
 安全な容器包装材料 : ガラス

## 8. ばく露防止および保護措置

—製品—

- 設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。/取扱い場所には近くに安全シャワー、手洗い・洗顔設備を設け、その位置を明瞭にする。  
 管理濃度 作業環境評価基準 : メタノール:200ppm、260mg/m<sup>3</sup>  
 許容濃度 : 日本産業衛生学会 メタノール: 200ppm、260mg/m<sup>3</sup>:経皮  
 ACGIH TLV(s) メタノール: TWA 200ppm、STEL 250ppm  
 保護具 : 有機ガス用防毒マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋、保護衣、保護長靴等を使用する。

## 9. 物理的および化学的性質

—製品—

外観	: 赤紫液体	臭気	: 特異臭
沸点	: 65℃	融点	: -93℃
引火点	: 11℃	発火点	: 385℃
爆発範囲	: 6.0~35.6 % (v/v)	pH	: 現在知見なし
蒸気圧	: 12.3kPa (20℃)	比重	: 0.793 (20/20℃)
溶解性	: 水、エタノール、エーテルに混和		
	n-オクタノール/水分配数 log Po/w: -0.82、-0.66		

## 10. 安定性及び反応性

—製品—

- 安定性 : 安定。加熱すると分解して、一酸化炭素およびホルムアルデヒドを生成する。  
 危険有害反応可能性 : 現在知見なし  
 避けるべき条件 : 日光、熱、裸火、高い温度、スパーク、静電気、その他の発火源  
 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素

## 11. 有害性情報

- 急性毒性： 吸入-ヒト TCL0:300ppm 腹腔-モルモット LD50:3556 mg/kg  
 静脈内-ラット LD50:2131mg/kg ラット口径 LD50 値:6200mg/kg
- 局所効果： 皮膚-ウサギ 500 mg/24 時間 中程度  
 眼-ウサギ 40mg 中程度
- 全身毒性/単回暴露： ヒトで急性口径または吸入暴露により中枢神経系の抑制および視覚器障害がみられ  
 との記述、ヒト暴露例で代謝性アシドーシスがみられるとの記述、ラット反復吸入暴露試験で  
 気道刺激性、ヒトで粘膜刺激症状がみられるとの記述、またラット、マウス、アカゲザル等で麻酔  
 作用がみられたことから気道刺激性、麻酔刺激作用がある。
- 全身毒性/反復暴露： ヒトの長期暴露例で中枢神経系の抑制、視覚器障害がみられたとの記述
- 生殖細胞変異原性： 現在知見なし
- 生殖毒性： 妊娠ラット、マウスを用いた経口、吸入暴露試験で胎児奇形、死亡の記述がヒト暴露例のデー  
 タがない。雄ラットでテストステロン濃度の低下、精巣変形がみられたとの記述。
- 発がん性： OSHA, NTP, IARC にがん原性の記載なし。

## 12. 環境影響情報

- 残留性/分解性： 現在知見なし
- 生態蓄積性： 現在知見なし
- 生態毒性/魚毒性： 現在知見なし
- その他のデータ： log Po/w : -0.82, -0.66

## 13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物： 焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。少量の場合はおがくず、ウエス等に吸着させて開放  
 型の焼却炉で焼却する。これを含む排水は活性汚泥等の処理により清浄してから排出  
 する。
- 汚染容器及び包装： 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去したあとに処分する。  
 本製品は、産業廃棄物に該当する。処理を委託する場合は、廃棄物処理業の  
 免許を持った業者へ、産業廃棄物管理票を添えて依頼する。

## 14. 輸送上の注意

- 国連番号： 1230
- 国連分類： ペン適用外 (内容液 PG II)
- 海洋汚染物質： 該当
- 注意事項： 運送に関しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いよう  
 積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

## 15. 適用法令

- 製品—
- 消防法： 第4類第アルコール類(水溶性)危険等級2
- 毒物及び劇物取締法： 非該当
- 危険物船舶運送及び貯蔵規則： 引火性の物
- 労働安全衛生法(通知対象物質) : NO.560 メタノール
- 化学物質管理促進法： 非該当

## 16. その他の情報

## 引用文献等

- ① 化学工業日報社： 12000 の化学商品、国際化学物質安全性カード(ICSC)
- ② 中央労働災害防止協会： 化学物質の危険・有害便覧労働省安全衛生部監修
- ③ 医歯薬出版： 産業中毒便覧
- ④ Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH (1985-1986)

\* 記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価について完全性を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。ご使用者の責任において安全対策を実施の上お取り扱い願います。